

●とびくす●

第13回街づくりデザイン賞の紹介

徳島市 都市政策課

■街づくりデザイン賞

優れた計画により造られた建築物等が都市の美化、都市環境の向上に大きな役割を果たしていることから、徳島市ではその奨励と顕彰をはかるため「街づくりデザイン賞」を設けており、今回は第13回目の実施となりました。

■募集対象

徳島市の魅力ある街づくりに貢献していると思われる建築物、彫刻、モニュメント、生け垣、広場、前庭、サイン、看板、道路などとそれらを生かした街並みで、平成20年 4 月以降に完成したもの（増築、改築、修景、模様替えを含む）。生け垣などは完成時期は問いません。

■募集期間

平成23年 8 月 1 日(月)～平成23年 9 月30日(金)

■推薦数

(1)推薦総数 71通

(2)推薦物件数 56件（うち15件は重複及び対象外等）

■推薦物件数

住宅	18 件
商業施設（店舗）	10 件
共同住宅	1 件
診療所	3 件
病院	4 件
寺院	1 件
保育所	1 件
事務所	2 件
公共施設	2 件
特別養護老人ホーム	1 件
その他	13 件
合計	56 件

■審査・表彰

推薦にあった物件については、美術・デザインの専門家、建築家、学識経験者等で構成する選考委員会で審査し、次の 8 件の賞を決定しました。

賞名につきましては、選出された建築物等の特徴を捉えた賞名を選考委員会で決定しました。

■賞名

凜の佇み賞	KW 邸
山すそのやすらぎ賞	KT 邸
周辺環境配慮賞	mono 株式会社 事務所併用作業場
ガラスのタペストリー賞	歯科医院 こころ歯科
緑とともに賞	とくぎんとモニブラザ
希望の丘に芽吹く賞	徳島大学 助任の丘
光のかけ橋賞	両国橋 LED アート『SORA と MIZU』
なごみのまちなみ賞	中常三島の町並み

■受賞建築物等の紹介（敬称略）

◆山すそのやすらぎ賞 ～KT 邸～

設計/釜床 美也子

施工/岡崎工務店



■選考委員による講評

山麓に建つこの建物は、すぐ裏に山が迫り、まさに自然と隣り合わせの環境の中、静ひつ感が漂い、安らぎを覚える佇まいです。シンプルな外観を覆う真っ黒な焼杉板が、木の特質を際立たせるとともに、素材の魅力を存分に発揮して、周囲に違和感なくとけ込んでいます。

道路に面して、小石の敷かれた広いオープンスペースが設けられ、その中の植栽が町並みにアクセント的要素として成り立っています。

この建物は木をふんだんに使用するなど、素材を活かした設計がなされています。それは建築主の木に対するこだわりを強く反映したものであり、自然から与えられたものを自然へ戻す循環の考え方です。その意味からこの場所にふさわしいものであり、素材の持つ暖かさと周囲の景観が良く調和したものとなっています。

◆**周辺環境配慮賞** ～mono 株式会社 事務所併用作業場～
設計／伊原 貢
施工／(株)坂本工務店



■**選考委員による講評**

前面道路からセットバックした前庭は、緑化ブロックによる舗装と部分的な植栽で構成され、駐車スペースにもかかわらず、潤いのある場になっています。また、その前庭を囲むように、一見住まいと見間違えるような玄関部の表情と事務所部分やゴミ置き場を木製格子や木製壁で目隠しすることで、前庭全体が自然で柔らかな地域のオープンスペースとなっています。

このように、住宅地の中に建てられたこの建物は、事務所兼作業場という形態にもかかわらず、周辺環境を損なうことなく、さらにより良い環境を創造しようとする配慮が強く感じられます。

◆**緑とともに賞** ～とくぎんトモニプラザ～
設計／(株)石本建築事務所 大阪支所
／(有)中川建築デザイン室
施工／(株)坂本工務店



■**選考委員による講評**

とくぎんトモニプラザは2008年から2010年にかけて行われたリニューアル工事により、耐震補強と内部機能の一部が更新されるとともに、東側の一部が増築されました。通りに沿った増築部分には、ガラスのスクリーンと

壁面緑化が施され、それまでの外部に閉ざされた白いコンクリートの箱が、緑の豊かな開かれた公共施設へと生まれ変わりました。

ストック活用の観点から、既存建物の耐震改修が進む中、建物自体の耐震性能の向上のみにとどまり、ブレースなどの補強材が建物の外壁に露出し、建物のデザインだけでなく、街の景観を損ねているケースが見受けられます。

この建物の場合、耐震性能を高めるだけでなく、公共建築としてのアクセシビリティの向上や、良好な街並み形成にも十分な配慮がなされており、これからの建物のリノベーションの優れたモデルとなっています。今後とも、壁面緑化が適切に維持され、潤いのあるまちづくりに貢献されることを期待します。

◆**なごみのまちなみ賞** ～中常三島の町並み～
所在地／中常三島町 1・2 丁目



■**選考委員による講評**

いつの間にか、都市部の住宅街で連続した緑を見ることが珍しくなっていました。中常三島の町並みは、緑が豊かでとても心地よく感じられます。通り沿いに手入れの行き届いた緑が連続し、建物のスケール感も統一された町並みが形成されているからでしょう。ここを歩くと、良質な町並み形成には、それを構成する個々の建物のあり方と、そこに住まう人達の意識の重要性を再認識することができます。景観まちづくりを進めていくには、私達にとって最も身近な景観ともいえる住宅街の町並みは重要であり、そのモデルとして、この町並みはとても貴重なものです。通り沿いの一部には、駐車場等の空き地も見られますが、新たに建物が計画されるときには、既存の町並みづくりの作法に配慮した土地利用と建物造りが行われることを期待します。

その他の受賞建築物等については、徳島市都市政策課の HP に掲載していますので、そちらもご覧ください。

かいふの木の家&海部川流域の刀剣

海部支部 市谷 盛政

かいふの木の家

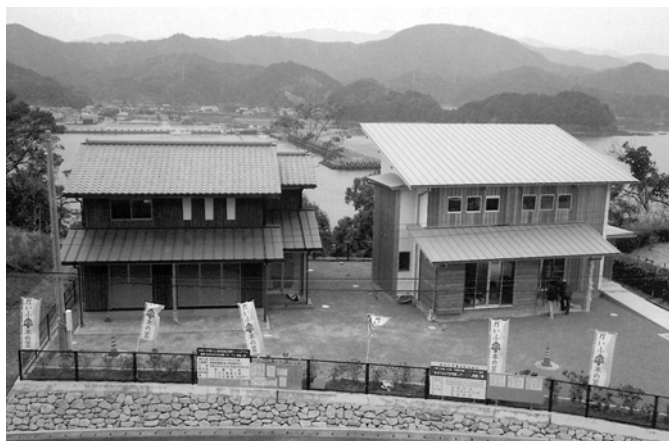
海部郡には地域の杉や桧を使って家造りをしよう、というかいふの木の家がある。会員には山持ち、木の伐採（林業）製材木材店、水墨画家、設計事務所、大土工務店、木工所などがおり、うち海部支部会員が45%である。会では森林環境木材の資質活用方法のセミナー、展示会への研修など開催している。またこの度、海陽町浅川まぜのおかオートキャンプ場において、地域材料利用システムモデル施設、まぜのおか住宅型コテージ2棟が、かいふの木の家・海部支部会員による設計・施工のコテージとして3月に竣工した。

かいふ木の家 事務局 〒775-0205

海部郡海陽町吉野字小松9-5 海部森林組合本所内

TEL：0884-73-3271 FAX：0884-73-1436

E-Mail：kaifunoki@mf.pikara.ne.jp



まぜのおか住宅型コテージ

海部川流域、刀剣海部氏吉

中世戦国昔、海部城主は強い武士を作るため「良く切れる優れた刀が必要である」という考えから、切れ味抜群の個性豊かな海部刀を創作した。刃長63cm、一穂、室町、名物岩切海部（阿州氏吉作）は広く世に知られている。文献上に見られる海部刀工と海部刀の作品は、65口中世海部の古刀に「藤」「師久」「氏吉」「泰吉」「泰長」「氏重」等が発見された。最盛期（1500～1600年）には60数人の刀工が海部川流域で技を競い大量に制作して、交易品として搬出された。このことは、海を舞台に活躍した海部船が群を抜いて多かったことにも記されている。「兵庫北関入船納帳」や海陽町大里から出土した7万余りの中国渡来古銭で知ることができる。「城満寺」、

海部川のほとり吉田の山麓に城満寺がある。海部氏が吉田の城下において海部の武士団を養成し始めた頃、1295年、時の名僧常済大師を招聘して城満寺を開基した。このことに海部氏がどれほど関わったことか、海部の武士団の精神的なよりどころとなっていたことか。城満寺は天正3年（1575年）長宗我部軍の侵攻によって消失し、長い間歴史的空白の時代が続く。平成4年大本山総持寺から山門をいただき移築、平成9年本堂の落慶をみる。この本堂は、奈良法隆寺宮大工西岡常一氏の一番弟子小川三夫氏率いる鳩工舎の宮大工集団により完成された。

海部の元は、海部川上流の豊かな木材、水産物、それに多数の海部刀工による大量の刀剣制作。海部は、土佐の護りに強力な武士団を養成して航海技術を生かして交易し、富の蓄積をはかった。海部が最も輝いたのは、海部郡から安芸郡まで支配していた、吉野城・海部城の時代であった。

海部氏吉と山うば

海部川上流へ5～6キロ遡ると笹草、ささむ谷口（笹無谷）というところがあり、刀工氏吉が刀を鍛えた大畠で氏吉の供養碑がある。笹無谷のずっと奥、お姥が滝の絶壁の岩屋にお姥が住んでいた。刀工氏吉には年頃の美しい娘がおり、ささやかな暮らしに明け暮れながら刀鍛冶一筋に励み続けていた。

ある初夏の夕暮れのこと一陣のなまぐさい風がスーと吹いてきて、そこにはなんと眼光は鋭く口は耳まで裂けている妖怪である。山うばは美しい娘の噂を聞いてこれはぜひ跡継ぎにしたいものだと思い、木の皮で編んだよそ行きの着物を身にまとい純金の水瓶を頭に乘せてかけおりてきた。山うばは氏吉に「おぬしの娘をわしの跡継ぎにもらえまいか」と。さあ困ったのは氏吉、こともあろうに人間さえも煮て食うという山うばの跡継ぎなどに…氏吉は途方にくれた。

と、名案を思いつき、山うばに「明日の朝一番トリが鳴くまでに刀を千本打ったら娘をやろう。もし打てなければ、二度とこんなことは言うてくるな」。山うばは心得たと鍛冶場に入るところがどうでしょう、鉄が真っ赤に焼けると両手でつかんで引き延ばしては打ち切っていく八百本・九百本。この調子でいけば大変だ。そこで考えた、竹筒のとまり木にトリをとまらせ熱湯を流したら、あと一本というところで「コケコッコ」。山うばは千本目の地金を投げ捨て口惜しさに顔をゆがめて、一目散にお姥が滝へと逃げ去った。

●あなたが出番●

リバーサイド ハーフマラソン IN 吉野川市

美馬支部 板東 大樹

3月18日、ついにこの日がやってまいりました吉野川ハーフマラソン。青年部長よりほとんど強制的に参加の要請を受け、出場することになりました。日頃の運動不足に不安を覚えながらも、ほとんど練習できないままいきなりの本番。当日は肌寒い小雨のばらつく曇り空。部長より今回のために作られた建築士Tシャツ（部長の手作り？）に着替えて、開会式、すだち君も応援に駆け付けてくれました。

号砲響くスタートの中、最後尾より美馬支部の精鋭6名で出発。最初は混雑の中のんびり散歩程度でしたが、だんだんスピードが上がっていきます。好調に走れたのは4キロくらいまで、給水地点のコップを手に取り少し歩くと太腿に痛みが、子どものころ駅伝で鍛えたこの体も今やみるかげもなく歩くだけで痛みが走ります。それでも必死に何とか走りましたが、13キロでリタイアしてしまいました。

そのとき僕と一緒に走っていたM先生、関門閉鎖ぎりぎりまで「何とかペース上げて走ってきます。」とさわやかに走り去っていきました。僕の分まで頑張ってくださいと心の中で思いながら、僕は筋肉痛とたたかいながらとぼとぼ会場までなんとか帰りました。（走っているときTシャツを見て声をかけていただいた板野支部の人、無事ゴールされましたか？またどこかでお会いしましたらどうぞよろしくお願いします。）すでにゴールしている人もたくさんいて、（トップの人のスピードはすれ違う時に見ましたが、僕の全力疾走と同じくらいでした。）一足先にゴール地点でみんなの到着を待ちますが間もなくして美馬の1番隊、2番隊が到着。だいたい年齢順に帰ってきました。メイドさんもバスの被り物の人も帰ってくる中、M先生も3時間以内にゴールできていました。（3時間以内だと完走賞にタイムが載ります。）みなさんお疲れの中、集合写真を撮り解散となりました。

足の痛みで帰りの運転は大丈夫かな？と心配しながらもなんとか帰れました。家に着いても筋肉痛で立つのはいいのですが、座る時には足がプルプルして激痛が走ります。この原稿を書いている時も座るのが大変でした。今度走る機会があったら、真面目に練習して完走できるよう頑張ります。最後になりましたがみなさんお疲れ様でした。また来年も頑張しましょう。来年も？

追記 みんな来年も参加 するん？ するん？



平成23年度全国女性建築士連絡協議会

徳島支部 森 茂代

全国女性建築士連絡協議会京都大会（第22回）に参加させて頂きました。7月予定が、東日本大震災の影響により延期され、2月開催。大阪の全国大会が中止となり、今大会には多くの参加を、との呼びかけを頂き、初めて参加させて頂きました。

メインテーマは、「景観まちづくりからコミュニティの再構築へ～京都で考える 日本のまちと暮らし～」。

17日は、京都市左京区「みやこめっせ」に於いて、約500名の参加で全体会。黙とうの後、開会式、シンポジウム 東日本大震災の現状報告。岩手、宮城、福島県各建築士会の代表の方より、支援の感謝とお礼。そして、被災状況と仮設住宅の現状と課題。福島は今も、県内外で約15万人が避難生活をおくっている。震災は“放射能汚染”と化して、復興の足枷となっている。今起きていることは、“経験でなく教訓”としてほしい。切実な想いが伝わってきました。福島県からは、16名の参加でした。

基調講演は、高田光雄氏（京都大学大学院工学研究科、居住空間学教授）京都の景観政策と地域のまちづくり活動の流れを、具体的事例を交えてのお話。

18日は、フィールドワーク、8つの分科会12コース。京都のまちなかを散策し、各分科会で、フィールドワークで体感した事を、テーマ毎に意見交換。各分科会とも、すごく練られているって感じで、参加するコース、すごく迷いました。

当日、京都市街は、昨日からの雪でうっすらと雪景色。素敵なのですが、戸外のフィールドワークには大変、そして寒い…とても美しい雪のなか、実行委員の方々の熱い想いで、大会は無事予定通りに終了しました。帰りの高速バスは、積雪で大鳴門橋が通行止め、日付が変わったの帰宅となりました。バス停帰路、スリッパして車一回転とか…ご参加の皆様お疲れ様でした。



▲ 東日本大震災の報告がありました。



▲ 雪の中、フィールドワークお疲れ様でした！



▲ 次回は10月。茨城大会です！

女性部からのお知らせ

■女性部役員会・総会のご案内

【役員会】

日時：4月21日(土) 午後2時30分～午後3時

場所：建築士会会議室

※ 欠席の方は佐々木部長まで委任状をFAXしてください。 FAX 番号 088-632-2655

【総会】

日時：4月21日(土) 午後3時～

場所：建築士会会議室

●士会だよりー本部●

平成24年度 建築士試験の日程

一級建築士

- ・申込書配布：4月23日(月)～5月14日(月)
- ・申込受付：5月7日(月)～5月14日(月)
- ・学科の試験：7月22日(日)
- ・設計製図の試験：10月14日(日)

二級建築士

- ・申込書配布：4月2日(月)～4月16日(月)
- ・申込受付：4月9日(月)～4月16日(月)
- ・学科の試験：7月1日(日)
- ・設計製図の試験：9月9日(日)

木造建築士

- ・申込書配布：4月2日(月)～4月16日(月)
- ・申込受付：4月9日(月)～4月16日(月)
- ・学科の試験：7月22日(日)
- ・設計製図の試験：10月14日(日)

※申込書の配布・受付は建設センター、試験は徳島大学常三島キャンパスです。詳細な試験会場は後日発表します。

※本年度は土・日の申込受付を実施します。

※申込書の土・日の配布は、受付期間のみです。

●士会だよりー本部●

平成24年度 定期講習の日程

- 第1回 平成24年6月20日(水) 建設センター
- 第2回 平成24年10月24日(水) 建設センター
- 第3回 平成25年2月20日(水) 建設センター

●士会だよりー本部●

平成24年度 第61回 通常総会

平成24年5月19日(土) 14：30～ 建設センター

※公益法人移行に向けて定款変更の案の決議など重要な総会となりますので、日程調整のうえ、ご参加下さい。

●士会だよりー女性部●

女性部総会のご案内

4月21日(土) 午後3時より 士会会議室にて

●士会だよりー協働の森関連事業&徳島支部青年部勉強会●

「間伐材利用と世界の木材の現状」

日 時：平成24年4月9日(月) 19：00～21：00

場 所：徳島県建設センター（徳島市富田浜2-10）3階 松の間

講 師：瀬崎林業 株式会社 遠野 清 氏

主 催：徳島県建築士会（事業研修委員会・徳島支部青年部）

問合先：徳島県建築士会本部事務局 TEL 088-653-7570

※勉強会の後、講師の遠野氏も一緒に食事会（どっくばらん会）を予定しておりますので、ぜひご参加お願いいたします。

建築士会本部行事案内 平成24年

4 月	5 月
2～16日 二級・木造建築士試験申込み用紙配布	1日 一日会 (士会会議室)
9～16日 二級・木造建築士試験受付 (士会会議室)	7～14日 一級建築士試験受付 ()
11日 建築相談 ()	9日 建築相談 ()
17日 会計監査 ()	12日 徳島支部総会 (建設センター)
18日 建築相談 ()	16日 建築相談 (士会会議室)
20日 合同役員会 (建設センター)	19日 第61回通常総会 (建設センター)
23日～5月14日 一級建築士試験申込み用紙配布	
26日 総務委員会 (士会会議室)	
地域貢献活動委員会 ()	

●行政だよりー徳島県●

中間検査の拡大について

徳島県県土整備部建築開発指導課

徳島県（徳島市を除く）では非木造建築物の一部に対しても「中間検査」を実施することになりました。これまで、徳島県では建築基準法で定める建築物の他では、木造建築物だけを中間検査の対象としていましたが、平成24年4月1日以降に建築確認申請を提出する、一定規模以上の非木造特殊建築物（一部の用途を除く）についても、中間検査の対象とすることになりました。

追加する対象建築物

構造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造

用途：不特定多数の人が利用する建築物

・劇場、映画館、観覧場集会場等

・百貨店、マーケット、展示場、遊技場等

災害時に特別な配慮が必要な建築物

・病院、ホテル、共同住宅等

・学校、体育館等

階数・規模：3階建以上又は500㎡以上

指定する特定工程

鉄骨造：最下階の直上階の床（平屋の場合にあっては屋根）を支持する柱及び梁の建て方工事

鉄筋（鉄骨鉄筋）コンクリート造：最下階の直上階の床（平屋の場合にあっては屋根）を支持する柱及び梁の配筋工事

リンク先：<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2012030100436/>

●行政だよりー徳島県●

「住まいの安全・安心なりフォーム支援事業」受付開始

今年も4月から、住まいの安全・安心なりフォーム支援事業の受付が始まります。木造住宅の「簡易な耐震化」と「リフォーム」に対し、合わせて40万円を上限に補助します。

【対象住宅】昭和56年5月以前に着工された木造住宅で、耐震診断の結果「倒壊の可能性がある」と判定された住宅（評点が1.0未満）

【対象工事】「簡易な耐震化（必須）」と併せて行う省エネ、バリアフリー工事などの「リフォーム」で、県内の建設業者等が施工し、補助金の交付決定後に着手、平成25年2月末までに完了するもの。

【補助金額】県から最大40万円（税抜き工事費の1/2以内）を補助、さらに一部市町村で上乗せ補助があります。（お住まいの市町村により金額が異なります）

【お申し込み】市町村の耐震担当窓口へ

【お問い合わせ】県住宅課（TEL 088-621-2598）

編集後記

- ・とくしまマルシェ、デビューします！ (レン太郎)
- ・みんなで行こうよ！ (べべい)
- ・幽霊まちかど編集委員です。もうすぐクビかも？ (今吉)
- ・別れと出会いと・・・宴会の季節ですね。 (ノーツ号)